

臨床心理センター活動報告

センター長 三浦 和夫

2021年12月31日時点での臨床心理センターの活動報告である。詳細については埼玉工業大学臨床心理センター年報をご覧ください。

1 心理相談室および正智高校カウンセリングルームの活動

下表のように、心理相談室の新規来談（インテーク外来）は21件、相談延べ面接数は366回であった。コロナ禍に突入した2020年度と同程度の水準であった。高校カウンセリングルーム及びセンター心理相談室ともに依然コロナ禍の中にあり、その影響は大きい。

過去2年間の臨床心理センターおよび正智深谷高校カウンセリングルームケース数

		新規ケース数	延べ回数	合計
2020年度	センター外来	19	388	411
	高校	6	23	
2021年度	センター外来	21	366	402
	高校	9	36	

正智深谷高校カウンセリングルームのコンサルテーションおよび情報共有数

2021年度	コンサルテーション	情報共有	合計
養護教諭	1	15	16
教職員	0	9	9

2 心理学セミナー

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、土曜セミナーはウェビナーを利用しオンラインで実施した。ワークショップ、幼児グループに関しては中止となった。

	日程	申込人数	担当	テーマ
1	6月5日	29	三浦	自我体験から早期記憶へ
2	7月3日	29	大塚	色から見えるいろいろな世界
3	9月4日	27	友田	フランクルの夜と霧
4	10月2日	25	巖	リラクゼーション技法再訪
合計	全4回	110		

3 院生実習（12月末現在）

例年通りインテーク面接陪席、ケース担当および心理相談室窓口受付・インテーク予約等の電話対応を院生実習として実施した。

- ① 受付電話対応：34件（内インテーク予約19件）

- ② インテーク面接陪席 : M2 陪席数 : 1 件 M1 陪席数 : 4 件
- ③ ケース担当 : M2 担当 5 件 M1 担当 1 件 (担当ケース延べ 74 回)
- ④ スーパービジョン : 延べ 46 回 (内部 12 回、外部 34 回)

4 学部生見学実習

今年度も心理学科学部生の臨床心理施設見学実習が実施された。日時・施設は以下の通りである。尚、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、見学人数を少なくするために、心理相談室及び正智深谷高校は、2回のグループに分けて実施した。

- ・心理相談室 : 6月23日、6月30日
- ・幼児グループ : 9月7日
- ・正智深谷高校 : 9月9日

5 その他

心理検査室の利用状況 : 院生 5 名 (延べ人数) が心理検査練習のため利用。この他に心理学科及び大学院の授業にて心理検査室が利用されている。

6 今後の課題

来年度もコロナ禍の中にあるであろう。感染対策を講じながらの運営が必要である。その中で、知能検査や心理検査を主訴とするインテークが増えている。心理検査体制の拡充が必要である。

また、今年度から来年度にかけて2階の図書資料室を新設・整備することになった。これも来年度の課題である。